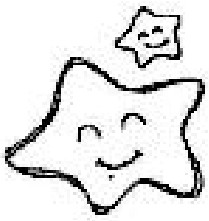
QSK(にぬふぁぶし) 1997 年 9 月 18 日 第三種郵便物承認　通巻 8833 号 2026 年 5 月 31 日 発行　（1）
（毎月 1.2.3.4.5.6.7 がつく日）

QSK にぬふぁぶし

No.353

子（ね）の方向の星（北極星）



沖福連の定例総会がありました

数日前まで続いていた大雨がどこか遠い世界の出来事のように、すっかり夏らしい快晴に恵まれた6月19日（金）、南風原町宮平にある「てるしのワークセンター」にて、沖福連の定例総会が開かれました。

中心となった議題は、2025年度の事業報告と2026年度の事業計画の審議です。それに加えて、参加者がそれぞれの会や地域の状況を持ち寄る時間にもなりました。熱のこもった話し合いはだいぶ予定の時間をはみ出してしまいましたが、それだけ思いを持つ人が多いということに頼もしさも感じられます。

また、お越しいただいたなかには初めてお目にかかる方もいて、これからの新しいつながりのきっかけにもなれば、とても嬉しく思います。

【2026年度 注目のトピック】

- ★ **「てるしのワークセンター」が今年30周年を迎えます！（イベントも検討中）**
- ★ **10月の家族大会では北海道「浦河べてるの家」から講師をお招きします！**
- ★ **みんなねっと全国大会は長崎大会、11月の開催！（沖縄も分科会を持つ予定）**
- ★ **琉球新報「心の扉を開いたら」欄に、7月～12月、沖福連の受け持ちがあります！（毎月1回、第2水曜日の掲載予定／初回は7月8日です）**

イオン南風原店

「えらぼう。未来につながる今を」フェアがありました！

5月29日～31日までイオン南風原店にて「えらぼう。未来につながる今を」フェアが開催され、てるしのワークセンターも出展参加してきました。えらぼうフェアは、環境にやさしい商品やサービスがテーマのイベントです。

ちなみに6月28日・29日にはイオン南風原店の周年祭イベント、また7月5日には「イオンdeパラスポ in イオン南風原店」があり、これにも参加予定。

イオン南風原店さんには通年、さまざまなイベントでお世話になっています。

お買い物にいらっしゃったみなさんも、もし私たちを見かけることがあったらどうぞよろしくお願いいたします！

「精神障害者入院患者に対する地域生活体験事業」のご案内

「退院したい！」という方や「退院って少し不安・・・」という方へ

地域生活体験事業を利用してみませんか？

☆退院した後の住まいや日中の過ごし方など、体験してみませんか？
　相談の窓口や憩いの場所、就労の場所などの見学を支援します。
☆住まいの希望は？ どんなところに住みたいですか？
　〝グループホーム〟〝宿泊型自立訓練事業所〟など
☆「生活のリズムを整え、社会参加したい！」という方には
　〝地域活動支援センター〟〝自立（生活）訓練〟など
☆「働きたい！」という方には
　〝協力事業所〟〝就労支援事業所〟など

まずはお気軽にご相談ください！

お申込み・お問い合わせは沖福連まで

TEL:098-889-4011 ／ FAX:098-888-5655

地域をまわる

【 首里のｓｕｍｉｋｋｏ 】

営業時間：12時～19時（定休：火）
場所：首里石嶺町3-30-12
連絡：shurinosumikko@gmail.com

山田さんという心理士がいるのだと、うちの奥さんからときどき話を聞くようになった。奥さんの話しぶりから、ユニークでなんだか面白い人らしいというのは伝わってきた。ぼくと山田さんを、会わせてみたいと思っているようなのもなんとなく感じられた。奥さんがぼくに知人を紹介しようとすることとかは滅多にないので、これはまぁまぁ珍しいことだ。山田さんの他にこれまで紹介されたことのあるのは、友だちのマリエくらいだ。

それで「首里のsumikko」は、そんな山田さんが家族で開いた「私設図書館」である。

私設図書館とはなにかというと、地域のみんなが本棚のオーナーになり、それぞれが自分の好きな本を持ち寄って人に貸す、というそういう仕組みのものらしい。

本棚のオーナーには、月２千円払うとなれる。つまり、本を貸す側がお金をもらうのではなく、お金を払うのである。最初にそれを聞いたとき、ぼくは正直いうと、絶対に成り立たないのではないかと思ってしまった。お金を払ってまで他人に自分の本を提供したい、そんな奇矯（ききょう）な欲望の持ち主がいったいどれだけいるのだろう？

ところがオープンから1か月後に覗きに行ってみると、100コほどある棚のうち、既に半分ばかりが埋まっていた。世の中、奇特な人ばかり！

それぞれの棚はかなり個性豊かで、いい具合に脈絡がない。文字通りの他人の本棚である。棚に並ぶ本を見ることで、本の向こうにいる持ち主の輪郭をうかがうことができる。知っている本や、自分好みの本棚を見つけると親近感がわき、顔も名前も知らないその相手に対し、なんとなくつながりの感覚を覚えたりもする。

併設されたカフェのコーヒーを飲みながら、山田さんに話を聞いてわかってきたことは、私設図書館とは一面として、「地域における自己表現の場」であるということだ。本棚の活用は、表現であり、発信である。

【次のページへ】

また「sumikko」では、カフェの店番をすることと引き換えに、お店自体も比較的自由に使うことができる。自分の好きなコンセプトで、自分の好きな音楽をかけ、自分の好きなドリンクや料理を提供することができる。フリースペース的な活用もできる。自分が好きなものはこういうもの、という発信の場として使える。

どういう集まりかわからないけれど、お店には子どもたちがたくさん遊びに来ていて、みんなにぎやかに、また思いおもいに過ごしていた。男の子がやってきて、ぼくたちにひとつずつ、一口（ひとくち）チョコをくれた。

自分の「好き」を誰かに差し出したい人がこんなにたくさんいるということが、ぼくにはそこそこ驚きだったのだけれど、考えてみると、子どものときには「好き」を通したこういうつながりのほうがむしろ自然だった気がする。大人はややこしいのでそういう機会が少なくなる。

奥さんが山田さんやマリエをぼくに紹介してくれたその感覚も、だからものすごく大切なものだ。

自分だったら本棚になにを置くだろう、という妄想にはいまだに結論が出ないでいるが、ぼくにとっては、このにぬふぁぶしのページを埋める毎月の行為も、本棚に自分の好きな本を置くこととたぶん少し似ている。（増山）

「にぬふぁぶし」では、みなさまからの投稿原稿を歓迎いたします。心のこと、身体のこと、ちょっとした日常の出来事などなど、人とわかちあいたい想いがありましたら、どうぞお気軽にお寄せください。

宛先：〒901-1104 南風原町字宮平 206-1
Fax：098-888-5655　メール：terushino@castle.ocn.ne.jp

沖縄県障害者社会活動推進事業

おきなわ障害者人権センターセミナー

精神科病院の「収容所性」を考える

～精神科医療と地域生活・人権について考える～

申し込みフォーム↓

参加費無料

日時 2026年 7月25日（土） 14:00～16:30

対象
障害当事者・家族・障害者団体関係者・医療/福祉従事者・行政関係者・学生・一般市民

講師
オリブ山病院
横田 泉 さん

開催方法 ハイブリッド（対面・オンライン）
情報保障 文字通訳・手話通訳

会場
那覇市 石嶺公民館
〒９０３－０８０４
那覇市首里石嶺町２丁目７０番地９
電話：９１７－３４４７

内容

本セミナーでは、精神科病院における暴力や虐待、長期入院、地域で暮らすための支援不足など、精神科病院が持つ「収容所性」について考えます。講話を通して、行政・医療・地域社会に求められる役割や、色んな人が安心して地域で暮らすために必要な支援について学びます。また、講話後にパネルディスカッションを行い、参加者同士で意見交換をする時間を設けます。あわせて、おきなわ障害者人権センターの活動について知り、直接話し合える機会とします。

モノレール：石嶺駅より徒歩10分！
那覇バス：11番・9番・13番・17番
★石嶺営業所より徒歩6分！
沖縄バス：7番・8番(首里城下町線)
★自治会事務所前より徒歩1分！

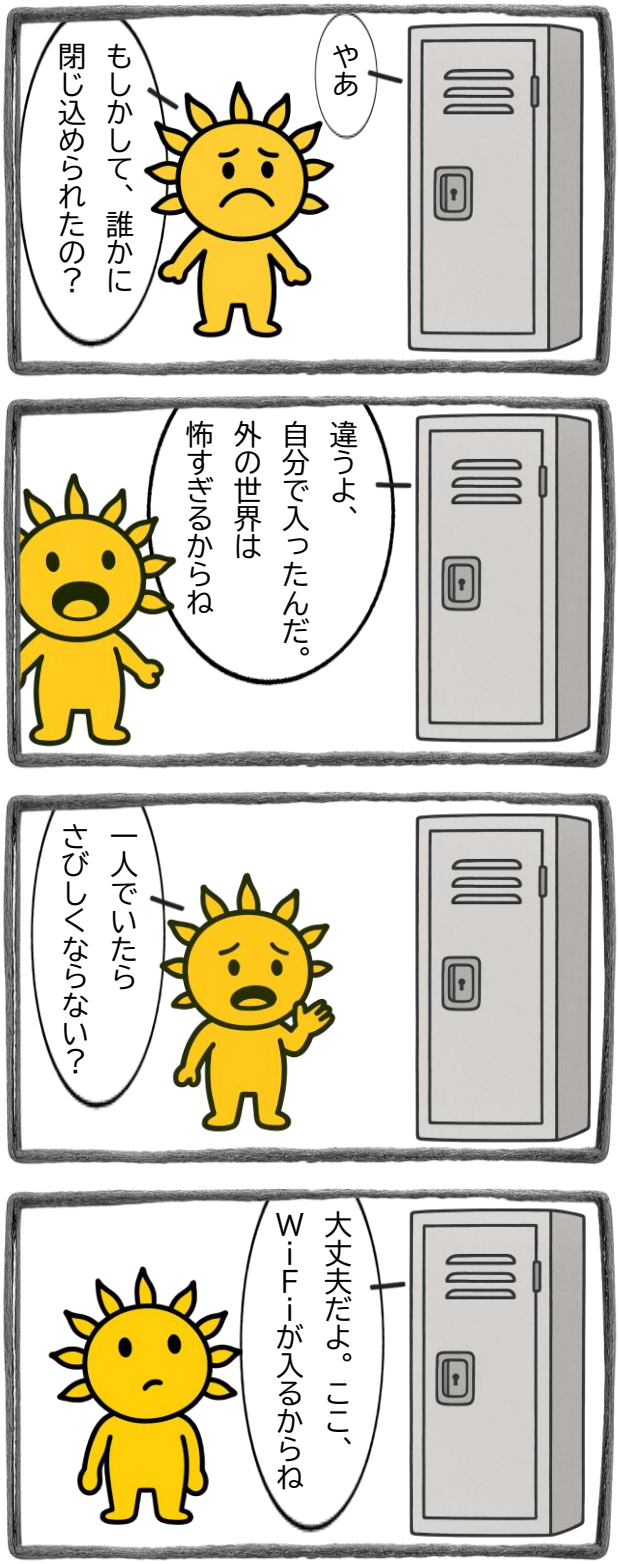
プログラム

14:00～14:05	はじめの挨拶
14:05～15:05	講師のお話
15:05～15:20	休憩
15:20～16:15	パネルディスカッション
16:15～16:30	質疑応答・おわりの挨拶

お問い合わせ
【主催】沖縄県自立生活センター・イルカ 担当：早坂・高宮城
TEL：098-890-4890　mail：iruka441@gmail.com
【協力】沖縄県精神保健福祉会連合会
特定非営利活動法人　あごらぴあ

てるしのくんのまんが

「大丈夫だよ」



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。
今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費
・個人１口：2,000 円
・団体・法人１口：10,000 円
琉球銀行：南風原支店・普通口座 229887
ゆうちょ：02020-0-37037
（加入者名：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会）

◎編　集　後　記◎

本紙（にぬふぁぶし）について、感想やリアクションをもらう機会はぜんぜん多くない。それで平気かといわれれば、大人なので平気ではある。けれど、好意的な声かけをもらえれば、その日一日を幸せに過ごせる程度には嬉しく感じる。どれくらいかといえば、先日たまたま同じ日に二人の方から本紙についてポジティブなコメントをいただいたのだが、それだけでいまだにその日付を覚えている。6月11日。お一人は賛助会年会費のお支払いとともに「まんが楽しみにしてます」の一言。ありがとう！　もう一人は会議で一緒になった行政関係の方だったが、会議のあとでわざわざ「好き」と伝えてくれた。ありがとうございます！　今号の記事に書いた山田さんは、琉球新報の取材に対して私設図書館を「アナログなSNS」と表現しているが、発信だけでなく応答にも、このようにものすごくささいなことであっても時に人を元気にし得る力がある。「いいね」、大事。（増山）

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長　山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1
電話098-889-4011
FAX098-888-5655
E-mail　terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0068
福岡市東区社領1丁目12番4号
電話092-753-9722
FAX092-753-9723
定価：10円（会費に含まれる）